

オリックスが銀行子会社を譲渡一格付への影響は限定的

以下は、オリックス株式会社（証券コード：8591）が、子会社のオリックス銀行株式会社を、株式会社大和証券グループ本社（証券コード：8601）の連結子会社である株式会社大和ネクスト銀行へ譲渡することについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- オリックスは4月27日、100%子会社であるオリックス銀行の全株式を、大和証券グループ本社の連結子会社である大和ネクスト銀行へ譲渡することを決定したと公表した。本件の譲渡価額は3,700億円で、オリックスは約1,242億円の売却益を27/3期決算で計上する予定である。オリックス銀行の総資産は約3兆円であり、オリックスの連結総資産約18兆円に占める割合は大きい。一方、セグメント利益に対する構成比は5%程度にとどまっている。
- 本件による格付への影響は限定的である。JCRは、オリックスの多角化された収益基盤、良好な収益力や資本充実度などを格付に反映させている。本件により、オリックスの事業の中において安定性が高いとJCRが評価しているオリックス銀行の利益貢献がなくなる点は、信用力にはマイナスと考える。一方、ROE向上を重要な目標とし保有資産を積極的に売却する方針としており、本件売却により、他の資産および事業を継続保有する余地が増す点、新たな投資余力が生まれる点で、経営の自由度が増すことの意味は大きい。今後、注力するアセットマネジメント事業を一段と強化することなどで収益基盤の更なる強化を進めることができるか、リスクと資本のバランスが適切にコントロールされるかに、JCRは引き続き注目していく。

（担当）大石 剛・孕石 望

【参考】

発行体：オリックス株式会社

長期発行体格付：AA 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル